

タブレットがぐっと身近になる

Hello, Tablet!

2022年

10月 **Vol.8**

教育総合研究所



いつの間にそんなに伸びたの!?

今号のもくじ

- ◇ そうけんさんのICT奮闘記
家庭学習の教材づくり
- ◇ フォームアプリ完全マスター
基本から応用まで

日々のトラブル

DX川柳

真似しても 何かが違う 諦める

こんなときは可能であれば
データやひな形をそのまま
使うことから始めましょ
う。コピーが簡単なのもデ
ジタルの良さ。でも、著作
権にはご注意を!



Take it easy

そうけんさんのICT奮闘記

連載 第3回



今月の困りごと **家庭学習の課題作成に戸惑う**

オンライン会議に慣れたおかげで、夏休みには学校と家庭を結んでオンライン朝の会も開くことができた。新学期になって、うちの学校でも端末の持ち帰りが本格的に始まったけど、家庭でも有効に活用できるような課題を作るにはどうしたらいいんだろう。とりあえず、いつものワークシートをデジタル化して配布しようかな。でも、それだけだと印刷したプリントを配布するのと大差ない気もするしなあ。

Answer

家庭でも端末を開く習慣を作る仕掛けを工夫する 宿題は1人でやるものという枠組を改める

家庭でも端末を開く習慣をつけるための仕掛けとして、予約配信の機能を利用して決まった時間に課題を配信するということが考えられます。例えば、「毎日19時に問題を配信するので、解き終えた人から共有のスペースに提出すること」のような形にすると友だちの様子も知ることができ競い合いながら取り組むことができます。

また、1人で黙々と向き合う課題だけではなく、共同編集機能などを用いてペアやグループで協働する課題を宿題にすることで、タブレット端末のよさを生かすことができます。学年や校種に応じて児童・生徒が作業時間や役割分担などを決める経験をすることで自律的に端末を活用する姿勢が身につきます。

お便りのコーナー 今月もお便りいただきました！

【お便り】同じオンライン会議のアプリでもOSによって違う点があって不便

オンライン会議のアプリに限らず、OSによって使える機能が異なるアプリはたくさんあります。また、OSの違い以外にアプリをインストールするのか、インターネットを介してブラウザ（クラウド）で利用するのかによっても機能が異なります。一般的にインストールするタイプのアプリの方が高機能になるようです。普段と違う環境で使用する際には事前に機能の確認をしておくといいですね。

※OS 端末ごとの基本システムのことWindows、iPad (iOS)
Chromebook (ChromeOS)

もう使っている人も、これから使いたい人も

基礎から応用までフォームアプリ完全マスター

フォームアプリとは

アンケートや小テストなどが手軽に作成できて、集計まで自動で行えるアプリのこと。Microsoft、Googleの両方に同じようなアプリがあるので、基本的な使い方を覚えておけば異動などで環境が変わってもすぐに使い始めることができます。

基礎編

初めて使う場合は簡単なアンケートの作成から始めてみましょう。作り方は質問項目に応じた質問形式（客観式・記述式）を選ぶだけです。児童・生徒の回答後には特別な操作をしなくても結果がグラフなどで表示されます。

集計した内容は簡単に表計算アプリに送ることができるので、データの加工も容易に行うことができます。

まずは、質問項目の作成と表計算アプリとの連携ができるようになりましょう！

発展編

質問項目の作成がスムーズにできるようになったら挑戦して欲しいのが、セクションを用いた分岐です。選択した回答に応じて、次の質問を変えることができるので、例えば健康観察において最初の質問を発熱の有無にしておくと、発熱があった場合のみ詳しい回答を求めることができます。

分岐を用いるときは、回答がループしないように注意しましょう！いつまでたっても回答を終えることができなくなりますよ。

応用編

分岐を自由自在に駆使できるようになったら挑戦して欲しいのが、分岐を利用した目次作りです。質問の1問目で実際に答えて欲しい問いを選択する形（目次）にすることで、1つのフォームの中に内容の異なる複数のフォームを作成することができます。こうすることによって、フォームのファイルが増えすぎるのを防ぐのと同時に、URLも1つで済むので児童・生徒との共有も煩雑になりません。内容の追加も目次の選択肢を増やすだけで簡単にできます。実例は次のページで。

もう使っている人も、これから使いたい人も

基礎から応用までフォームアプリ完全マスター

Microsoft Forms

質問 応答

1つのフォームを分岐

セクションで分岐する機能を使って、1つのフォームを更新することで、無駄にファイル数を増やさないようにできます。単元ごとの自学課題や行事の振り返りなど、統一したテーマのあるものなら、1つのファイルでまとめて管理できます。

1. 解きたい単元を選んでください

- 単元 1
- 単元 2
- 単元 3
- 単元 4
- 単元 5

分岐の設定オプション

目次の部分

Google フォーム

6 セクション中 1 個目のセクション

1つのフォームを分岐

セクションで分岐する機能を使って、1つのフォームを更新することで、無駄にファイル数を増やさないようにできます。単元ごとの自学課題や行事の振り返りなど、統一したテーマのあるものなら、1つのファイルでまとめて管理できます。

目次の部分

解きたい単元を選んでください

- 単元 1
- 単元 2
- 単元 3
- 単元 4
- 単元 5

セクション 6 (単元 1) に移動

セクション 5 (単元 2) に移動

セクション 2 (単元 3) に移動

セクション 3 (単元 4) に移動

セクション 4 (単元 5) に移動

選択肢を追加 または 「その他」を追加

実際に解く問題

ここでは単元ごとの小テストを例として示しています。1問目を写真のように目次として使い、解きたい単元を選べるようにしてあります。実際に解く問題は分岐した先に作成します。

単元ではなく難易度で選ぶ形にすると、児童・生徒が自身の状況に応じた問題を解くことができる、個別最適化に対応した教材の作成も可能になります。

今回はMicrosoft、Googleの両方で同様のことが可能な例を紹介しました。独自機能を用いた実践などお持ちの方はお便りいただけますと幸いです。

Tips

採点機能を使うと、客観式の模擬試験等の自己採点シートとしても活用できます。画像や動画を挿入することもできるので、予習や反転学習用の教材としての活用も考えられます。

お便りコーナーのアンケートフォームのURL

<https://forms.gle/6QdJ5mHm8ZooyxSN9>



ご意見、ご感想をお寄せください
活用促進に関する困りごとのご相談も大歓迎です！

次号は11月1日発行予定

編集後記
今号では活用が進んでいるフォームアプリを特集しました。使いこなしている皆さんには物足りないかも知れませんが、活用の波に乗り遅れてしまった皆さんも、大丈夫です。簡単なことから始めましょう。そして、自分が出るようになったら、児童・生徒にも活用を促してください。
引き続きお便りもお待ちしておりますので左のQRコードからお気軽に。